

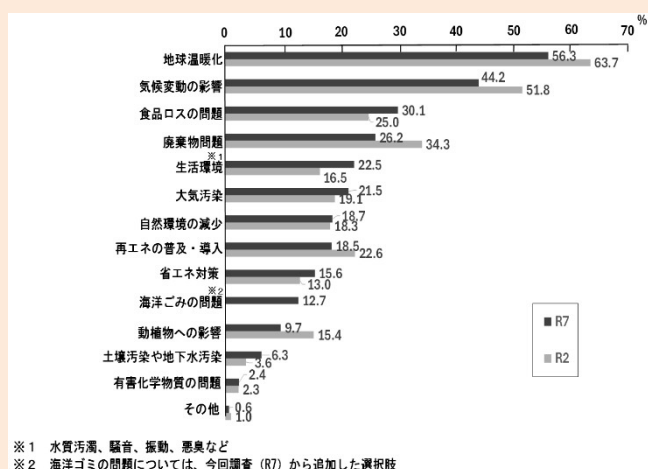
宮崎県気候変動適応センター通信 第38号

「令和 7 年度環境意識についての県民アンケート調査」における気候変動適応に関する結果

県では、第四次宮崎県環境基本計画の中間改定に伴い、令和7年度に「環境意識の現状についての県民アンケート調査」を実施しました。このうち、気候変動への適応に関する結果の概要についてお知らせします。（回答数：1,429）

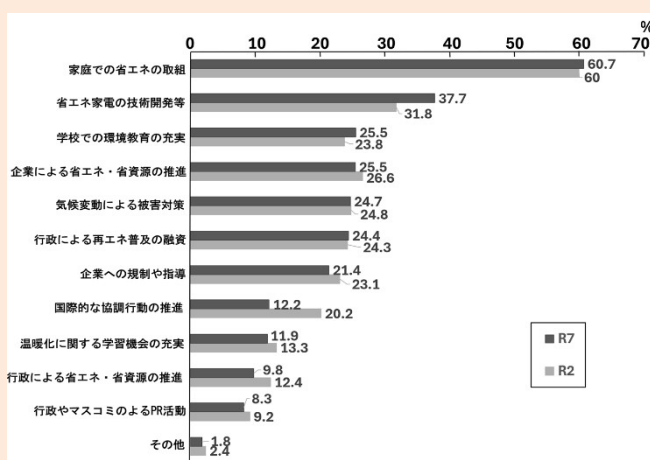
■関心のある環境問題については、前回調査(R2)と同様に「地球温暖化」が 56.3%と最も高く、次いで「気候変動の影響」が 44.2%となりました。環境問題において気候変動への関心が引き続き高いという結果となりました。

図1 関心のある環境問題



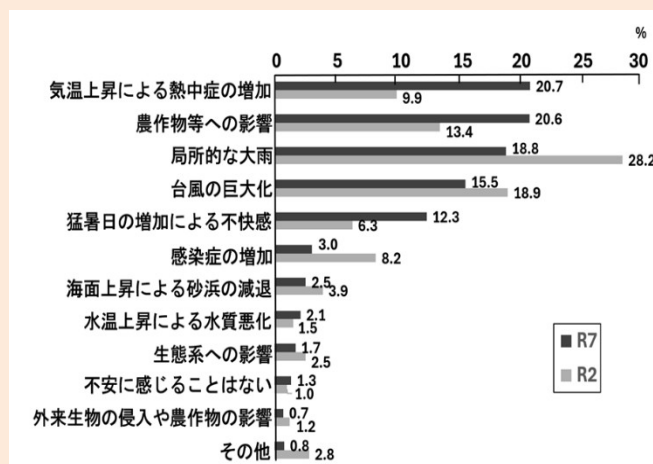
■地球温暖化対策として重要な取組については、前回調査(R2)と同様に「家庭での省エネの取組」が 60.7%と最も高く、次に「省エネ家電の技術開発等」が 37.7%となりました。地球温暖化対策には省エネへの取組が重要という結果となりました。

図3 地球温暖化対策として重要な取組



■地球温暖化で一番不安に感じる影響については、前回調査(R2)と比較して「気温上昇による熱中症の増加」が 9.9%から 20.7%に、「農作物等への影響」が 13.4%から 20.6%に上昇しています。より身近なものへの影響に、より不安を感じている結果となりました。

図2 一番不安に感じる地球温暖化に伴う影響



■今後行政が推進すべき取組については、「地球温暖化適応策の推進」が 43.5%と最も高く、次に、「再生エネ・省エネ施設の整備」が 41.3%となり、前回調査(R2)より関心が高まっています。

図4 今後行政が推進すべき取組

